

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	田原市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R8年1月5日		～ R8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な専門性を持ったチームアプローチが可能であること。 保育所等訪問支援事業は、言語聴覚士、臨床心理士が訪問支援員として所属している。	・利用者の方やその保護者の方々に様々な職種が関わり、それぞれの専門性からサポートを行えるように、随時相談できるようにしている。また、保育所等訪問支援計画を作成する際にもそれぞれの専門性から話し合い、サポート方法を検討する。	・チームアプローチの充実や受け入れられる児童の幅を拡げるために必要な専門職の確保を検討している。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 保育所等訪問支援事業の実施件数がないこと。	・ 保育所等訪問支援事業に関する広報が十分ではなく、保護者に十分な周知がされていない。	・ 利用していただけるように広報をおこなったり、訪問先との関係作りを今年度も行ったが実施には至らなかったため、今後も継続して行っていく。また、地域支援として巡回相談の実施も検討していく。
2			
3			